【 記 入 例 】

様式第１３号（第35号関係）

少量危険物の (1)貯蔵／取扱い （変更）届出書

(2)　年　月　日

（あて先）千葉市消防長又は千葉市(3)　消防署長

(4)届出者

住　所

氏　名

千葉市火災予防条例第46条第1項の規定により少量危険物の (1)貯蔵／取扱い （変更）を届け出ます。

貯蔵又は取扱いの場所	所在地	(5) 連絡先電話番号　—　— 連絡先電子メールアドレス　@			
	名称	(6)			
貯蔵・取扱いの状況	類・品名	(7)			
	最大数量	(8)　ℓ／kg	指定数量の (9) 倍		
	位置	(10)			
	構造	(11)			
	作業概要	(12)			
	消火器具等	種類・型式	(13)	個数又は数量	(14)
貯蔵・取扱い開始（変更）年月日		(15)　年　月　日			
危険物取扱者の状況		(16) 甲種　名・乙種　名・丙種　名			
その他		(17)			

※受付欄	※経過欄

備考　1　用紙の大きさは、日本産業規格A列4番としてください。

2　届出者が法人の場合は、主たる事業所の所在地、法人名称及び代表者の職・氏名を記入してください。

3　貯蔵又は取扱いの場所の位置、構造及び設備の図面を添付してください。

4　※印欄は、記入しないでください。

【 記 入 例 】

項目	記入要領
(1)届出区分	届出に係る区分以外を横線で消します。
(2)年月日	実際に提出する年月日(和暦)を記入します。
(3)宛先	貯蔵し、又は取り扱う場所を管轄する消防署長宛てとし、「千葉市消防長又は」を横線で消します。 中央区 → 千葉市中央消防署長　花見川区 → 千葉市花見川消防署長 稲毛区 → 千葉市稲毛消防署長　若葉区　→ 千葉市若葉消防署長 緑　区 → 千葉市緑消防署長　美浜区　→ 千葉市美浜消防署長 ※石油コンビナート等災害防止法における特定事業所が届出する場合は、千葉市消防長宛てとし、「千葉市　消防署長」を横線で消します。
(4)届出者	貯蔵し、又は取り扱う者の住所、氏名を記入します。届出者が法人の場合は、主たる事業所の所在地、法人名称及び代表者の職・氏名を記入してください。
(5)所在地	貯蔵又は取扱いの場所の住所及び連絡先電話番号を記入します。電子メールアドレスは任意で記入します。
(6)名称	貯蔵又は取扱いの場所の所有者等が個人の場合は氏名を、法人の場合は事業所の名称を記入します。
(7)類・品名	危険物の類及び品名を記入するとともに、化学名、通称名を併記します。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入してください。 【例】・第四類 第2石油類(灯油)
(8)最大数量	1日のうちで、貯蔵し、又は取り扱う危険物の最大となる数量を記入します。
(9)指定数量の倍数	最大数量をもとに、その倍数を記入します。
(10)位置	屋外、屋内、屋上、その他のうち該当するものを記入し、当該位置に名称がある場合はその名称を記入します。 【例】・屋内、車庫脇油庫
(11)構造	「別紙のとおり」とし、別紙に詳細図面等を添付してください。
(12)作業概要	屋内貯蔵、屋外貯蔵、屋内タンク、屋外タンク、地下タンク、移動タンク等の施設形態と貯蔵・取扱い方法の概要を簡記します。 【例】・屋内貯蔵、灯油ストーブ用の燃料を貯蔵する。 ・屋内タンク、ボイラーへ燃料を供給する。
(13)種類・型式	消防用設備等の種類・型式を記入します。 【例】・粉末消火器　10型
(14)個数又は数量	消防用設備等の設置数を記入します。
(15)貯蔵・取扱い年月日	貯蔵又は取扱い開始(変更)予定年月日を記入します。
(16)危険物取扱者の状況	危険物取扱者免状の交付を受けている者がいる場合は、その人数を記入します。
(17)その他	変更届出の場合は、貯蔵・取扱い開始年月日及び届出番号を記入します。 その他必要な事項があれば記入します。

※貯蔵又は取扱いの場所の位置、構造及び設備の図面を添付してください。